



GO!GO!

令和5年度 郡山市立緑ヶ丘第一小学校だより

令和5年5月29日

学校便り No.9

文責：校長 新田直子

みどりっ子便り



3つのあ「あんしん」～防犯教室～

5月25日（木）、東部駐在所の所長さんや郡山警察署スクールサポーターの方を講師にお迎えして防犯教室を行いました。防犯教室の前に、6年生に「家庭の交通安全推進員委嘱状」の交付を駐在所長さんより行いました。代表児童が堂々と誓いの言葉を発表しました。

防犯教室は、体育館に全校生が集まって実施しました。講師の先生から「いかのおすし」のお話を頂いた後、身を守るためにどのように行動したらよいかを、6年生とのロールプレイを交えながら教えていただきました。また、防犯ブザーや「大声で助けを求めろ」ことが大切であることも教えていただきました。ぜひ、ご家庭でも防犯の合い言葉「いかのおすし」についてお子さんと話したり、お子さんと一緒に防犯ブザーの点検をしたりしていただきたいと思ひます。

また、先日緊急メールでもお知らせいたしましたが、登下校はなるべく複数で行い、「いかのおすし」を心がけること、危険を感じた際には防犯ブザーや子ども110番の家を活用するよう、お子さんにお話しくださいますようお願いいたします。学校でも継続して児童への注意喚起と、下校時の学区内パトロールを行って参ります。

また、先日緊急メールでもお知らせいたしましたが、登下校はなるべく複数で行い、「いかのおすし」を心がけること、危険を感じた際には防犯ブザーや子ども110番の家を活用するよう、お子さんにお話しくださいますようお願いいたします。学校でも継続して児童への注意喚起と、下校時の学区内パトロールを行って参ります。



当たり前のことを全力でやる 全力投球！

ある学級の壁面に右図の「当たり前だの10か条」という掲示がありました。私も、全校集会や職員会議で「当たり前のことを、全力でやろう。」「凡事徹底を」という話をよくしています。「あいさつをする」「履き物をそろえる」「人の話を聞く」「後始末をする」「返事をする」「時間を守る」等々。これらは「当たり前のこと」であり、誰にでもできる小さなことだと思われがちですが、「当たり前のこと」に全力で取り組めることは、素晴らしいことであると思ひます。1つ1つは小さなことかもしれませんが、小さなことにも全力で取り組もうとする姿勢は、やがて大きな力となって、大変なこと、困難なことにも立ち向かう力となって子どもたちの心に蓄積されると考えているからです。

そのような力は学校教育だけで育つ力・習慣ではなく、家庭や地域の大人の姿を見て、まねるように身につく力です。「子どもは大人（親）の姿を映す鏡である」という言葉があるように、私たち教職員を含めて子どもに関わるすべての大人が、子どもたちのお手本となるよう心がけていきたいと思ひます。

当たり前だの10か条

- 1 廊下は右側をせずに歩く。
 - 2 給食の前は手を洗って、しずかに座って待つ。
 - 3 時間を守る。
 - 4 トイレのスリッパはそろえる。
 - 5 学校に関係の無いもの（シャープペンシルなど）は持たない。
 - 6 宿題は毎日やってまちがいは直す。忘れたら先生に言う。
 - 7 人を傷つける言葉は使わない。
 - 8 人が話しているときは黙って、目を見て聞く。
 - 9 あいさつは自分からする。
 - 10 すなおにあやまる。うそはつかない。
- ☆できない人がいたら、お互いに注意しあおう！

全力投球
全力でやる
当たり前のことを

